

Assist8

造林実測図ドローン 帳票について

【造林実測図ドローン帳票作成手順】

- 1) 図面を作成後、自由属性を入力する。
- 2) 申請面積保持の設定を行う。
- 3) Assist印刷より帳票出力を行う。

1) 図面を作成後、自由属性を入力する。

帳票出力する際の印字項目の初期設定は下記の通りです。

こちらは印刷時に変更が可能です。

印字項目に対応する自由属性のフィールドに必要な情報を入力していきます。

実測図詳細入力

振興局	備考10	市町村	備考11
林班	林班	小班	小班
No	NO	製図年月日	備考12
製図者名	備考13	森林所有者	所有者
事業コード	備考14	申請番号	備考15
申請面積	備考16	更新面積	備考17

OK キャンセル

自由属性	
項目名	値
樹種面積1	0.00
ゾニング	未設定
施業	未設定
備考1	
備考2	
備考3	
備考4	
面積	3.100
台帳	
地目	未設定
所在地	
所有者	大森〇〇
所有者住所	
占有者	
占有者住所	
NO	
測量日	
測量者	
年度1	
年度2	
備考10	〇〇局
備考11	△△市
備考12	2026/01/07
備考13	渡部
備考14	ア-111
備考15	001
備考16	6.53
備考17	7.00

申請面積と更新面積は図形上の面積と連動させるか、自由属性への入力値を反映させるかを選択することができます。ただし、どちらかは必ず図形上の面積と連動させる必要があります。

2) 申請面積保持の設定を行う。

① [ツール]→[自由属性]→[申請面積保持]をクリックします。



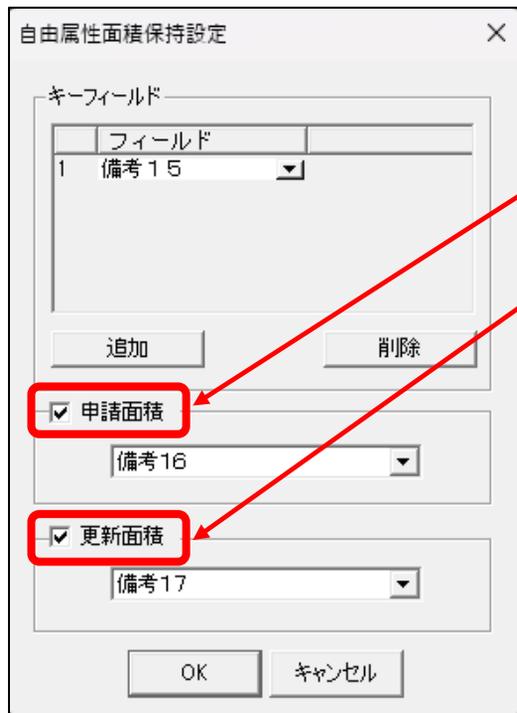
② [自由属性面積保持設定]が表示されます。

キーフィールドを設定します。

キーフィールドに同一の値が入っている場合、面積は合算されます。

キーフィールドは追加することが可能です。

(その場合、キーフィールドのすべてが値が一致しないと面積は合算されません。)



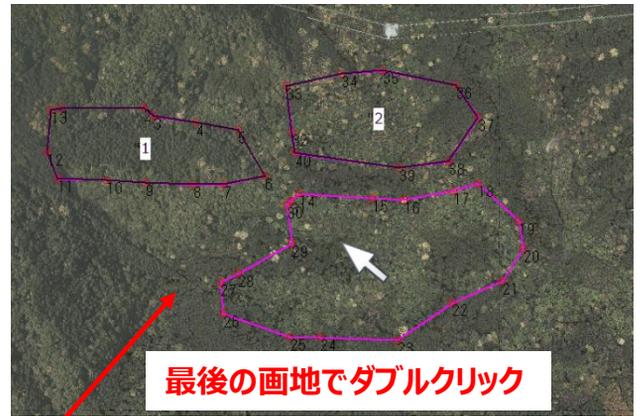
申請面積は通常的面積、更新面積は除地を考慮しない面積です。
図形上の面積と連動させる場合はチェックを入れ、連動させない場合はチェックを外します。
その場合、選択した自由属性のフィールドに入力した値が反映されます。
(前項でも記述した通り、どちらかは連動させる必要があります。)

備考16	6.53
備考17	7.00

↑ 連動する場合は自動入力
連動しない場合は手入力になります。

3) Assist印刷より帳票出力を行う。

[ファイル]→[Assist印刷]より帳票選択で[造林実測図ドローン]を選択します。
 [画地選択]から画地を選択した後に、[印字項目]から設定を変更することができます。(※印字項目につきましては1) 図面を作成後、自由属性を入力する。
 を参考にして下さい。)



最後の画地でダブルクリック

↑ 縮尺、印刷範囲は通常の
 Assist印刷同様、こちらから
 変更して下さい。

キーフィールドが同じ値の場合、面積が合算されて表示されます。
 下記サンプルは更新面積は図形上の面積と連動させていないので、
 指定した自由属性のフィールドに入力した値が反映されています。

振興局	市町村	林班	小班	No.	製図年月日	製図者名	森林所有者	事業コード	申請番号	面積 (ha)	申請面積	更新面積
〇〇局	△△市	333	33	1	2026/01/07	渡部	大森〇〇	ア-111	001	3.1037	6.53	7.00
〇〇局	△△市	333	22	2	2026/01/07	渡部	若井△△	ア-111	001	3.4298	6.53	7.00
〇〇局	△△市	555	11	3	2026/01/07	渡部	藤澤□□	ア-111	002	7.5425	7.54	8.00

